

# 平成 24 年度決算について

経理部経理課

平成24年度決算が、5月23日(木)に開催された学園理事会及び評議員会において承認されましたので、その概要をお知らせします。

平成24年度は、2年に1度の診療報酬改定の年にあたり、今回の改定はプラス改定とはいうものの、引き上げ幅は診療報酬全体で0.004%とわずかに留まり、実質的には据え置きとなりました。また、教職員・学生寮の着工や越谷病院附属腎・予防医学センターの開設等の大型事業も開始され、いかにして収支を改善して利益を確保していくかが大きな課題でした。

この様な状況下において、平成24年度決算は、3病院(大学病院、越谷病院、日光医療センター)を中心に収支改善に取り組み、また、各部署においても引き続き事業の見直しや経費節減を積極的に推し進めていただいた結果、帰属収支差額(帰属収入-消費支出)は、前年度の40億5,200万円に対し6億円増の46億5,200万円の黒字とすることができました。

以下、事業概要及び消費・資金収支計算書を掲載し、特に目立った動きを中心に簡潔に説明します。

## ■ 事業概要

(単位:百万円)

24年度事業内容	結果・備考等	24年度予算	実績	差異
<b>《医科大学》</b>				
<b>1. 教学関係</b>				
<b>① 医学部</b>				
1) 全国共用試験	1) CBT: コンピューターによる医学知識試験の実施 OSCE: 「医療面接」「頭頸部」「胸部」等6つのステーションでの模擬患者を相手とする実技試験の実施 (ともにH17年より実施)	4.6 0.8	5.0 1.0	-0.4 -0.2
2) 早期医学・地域医療体験	2) 第1学年対象「コミュニティヘルスインターンシップⅠ」、選択科目「地域包括医療実習」の開設。本学附属病院や学外の福祉施設等での体験学習の実施	1.8	2.3	-0.5
3) 学生の海外実習	3) 学内試験選抜の学生の海外大学病院における約2週間の見学実習の実施[実習先: カリフォルニア大学サンディエゴ校(アメリカ)、シティー・オブ・ホープ(アメリカ)、ミュンスター大学(ドイツ)、国立フィリピン大学(フィリピン)] (H13年より実施)	10.0	10.8	-0.8
4) 医師国家試験対策合宿	4) 卒業試験・医師国家試験の合格に向けて、約1週間の短期集中合宿を実施 (H12年より実施)	3.0	3.0	0.0
5) 国際交流等の拡充・充実	5) 国際交流の拡充や支援、海外大学との提携等の検討、海外視察の実施	5.0	1.0	4.0
<b>② 看護学部</b>				
1) 領域別臨床看護学実習	1) 小児・母性・成人・老年・精神・地域の各領域における実習の実施	1.8	1.8	0.0
2) ふれあい看護学実習Ⅰ・Ⅱ	2) 看護の役割等の習得や疾病障害を持つ人々の心身の状況と生活等の学習のため学外実習を実施	1.4	1.0	0.4
3) 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ	3) 病院において、患者の心理状態や良好な人間関係の構築等の学習及び入院患者の生活環境の理解や看護援助の必要性・重要性を体験学習	0.5	0.5	0.0
4) 地域看護学実習Ⅱ	4) 企業の健康管理、学校保健、産業保健活動の実際を環境調整・安全管理の視点から指導保健師と共に地域活動を実践	0.6	0.9	-0.3
5) 国家試験対策	5) 国家試験対策コーナーの設置等、国家試験に向けた受験環境を整備・構築 (H22年より実施)	3.5	3.2	0.3
6) 学生の海外研修	6) 海外の医療、看護業務の学習及び国際感覚を習得するため海外にて1週間程度の実習の実施	1.5	0.0	1.5
<b>2. 施設・設備関係</b>				
1) 教職員・学生寮新築	1) 教職員・学生寮の建設	2,413.6	2,375.7	37.9
2) 教育医療棟(仮称)建設 <創立40周年記念事業>	2) 教育医療棟(仮称)の建設、新築基礎部分に係る污水排水・雨水排水・消防系他の配管移設工事	2,120.0	267.1	1,852.9
3) 三郷市看護専門学校建設	3) 埼玉県三郷市へ看護専門学校の建設	300.0	30.6	269.4
4) 駐車場整備工事	4) グラウンド北側駐車場Eブロック整備工事他	200.0	140.8	59.2

24年度事業内容	結果・備考等	24年度予算	実績	差異
5)各大学棟用途変更による改修工事	5)教室・研究室の改修工事	140.0	97.1	42.9
6)学生食堂棟トイレ改修工事	6)衛生設備・室内改修工事	80.0	43.7	36.3
7)教育研究・実習用機器備品	7)教育研究・実習用機器備品の整備充実	461.6	332.3	129.3
8)図書	8)教育研究用図書の整備充実	43.8	42.5	1.3
<b>3.管理運営関係</b>				
1)寄附募集及び校歌作成 <創立40周年記念事業>	1)寄附募集及び趣意書作成、寄附金管理システム導入、校歌作成他	58.3	79.4	-21.1
2)図書館リフォーム	2)個人学習用機の導入	5.0	5.4	-0.4
3)大学院看護学研究科博士課程開設準備	3)大学院看護学研究科博士課程開設に向けた準備・検討	5.0	0.0	5.0
4)教員業績システムの導入	4)教員の業績をホームページ上で公開	4.1	4.2	-0.1
5)三郷市看護専門学校開設準備	5)埼玉県三郷市へ看護専門学校開設に向けた準備・検討	3.0	0.0	3.0
<b>《大学病院》</b>				
<b>1.医療活動関係</b>				
1)PETセンター	1)PET(陽電子放射断層撮影装置)によるガンの早期発見、詳細な部位の特定	413.0	387.1	25.9
2)統合医療情報システム	2)電子カルテシステム、オーダーリングシステム、PACSシステムの維持管理	293.4	283.5	9.9
3)栃木県ドクターヘリ事業	3)ドクターヘリ運航業務の委託他	193.9	190.9	3.0
4)診療報酬改定システム変更	4)診療報酬改定に伴う医事システム及び電子カルテ他システムの変更	10.0	7.0	3.0
<b>2.施設・設備関係</b>				
1)新館及びエネルギー棟設備 更新工事(2/3期)	1)新館及びエネルギー棟の設備更新工事	300.0	204.0	96.0
2)用途変更による改修工事	2)室内改修工事	100.0	23.6	76.4
3)無停電装置更新工事	3)病棟主電気室制御・非常照明用蓄電池更新工事	94.5	93.5	1.0
4)RI棟一次空調機更新工事 (2/2期)	4)空調機の更新工事	50.0	49.2	0.8
5)エネルギーセンター設備更 新工事(2/6期)	5)空調設備の更新工事	50.0	39.9	10.1
6)電子カルテシステム更新	6)電子カルテシステムの更新	1,600.0	1,504.1	95.9
7)医療設備機器整備	7)大型医療設備、経年劣化による代替機器、最新医療機器の整備	600.0	600.0	0.0
8)放射線部門システム(RIS) 更新	8)放射線部門システム(RIS)の更新	210.0	179.4	30.6
9)臨床研修機器整備	9)臨床研修用機器、OA機器の購入	50.0	50.0	0.0
<b>《越谷病院》</b>				
<b>1.医療活動関係</b>				
1)オーダーリングシステム	1)新規オーダーリングシステムの構築、各種システム更新	519.3	468.0	51.3
2)腎・予防医学センター開設	2)腎・予防医学センター関連備品の購入他	52.8	47.0	5.8
3)外来リフォーム	3)待合イス、診療科用什器類の購入他	32.0	33.0	-1.0
4)SPD業務委託導入	4)在庫管理、消費データ管理等の外部委託	13.9	10.0	3.9
<b>2.施設・設備関係</b>				
1)腎・予防医学センター開設 <創立40周年記念事業含む>	1)腎・予防医学センター開設(フローア購入、設計・監理、工事代)	710.5	595.0	115.5
2)放射線機器移設に伴う改修工事	2)機器移設に伴う改修工事	100.0	275.0	-175.0
3)空調機・換気機等更新	3)経年劣化による更新工事	90.0	0.0	90.0
4)給排水配管更新	4)経年劣化による更新工事	90.0	0.0	90.0
5)外来改修工事	5)泌尿器科外来改修工事	90.0	92.0	-2.0
6)医療設備機器整備	6)大型医療設備、経年劣化による代替機器、最新医療機器の整備(救急医療設備の整備100.0、放射線機器の整備100.0を含む)	560.0	602.0	-42.0
7)オーダーリングシステム更新	7)オーダーリングシステムのリース機器導入及び更新	535.1	457.0	78.1
8)腎・予防医学センター機器整備	8)医療機器の整備	490.0	491.0	-1.0
<b>《日光医療センター》</b>				
<b>1.医療活動関係</b>				
1)業務外注化	1)施設管理、検体検査、医事業務、給食、情報処理等の外部委託	261.1	259.6	1.5
2)医療情報システム構築	2)電子カルテシステム及び各部門システムの維持管理	15.2	15.2	0.0

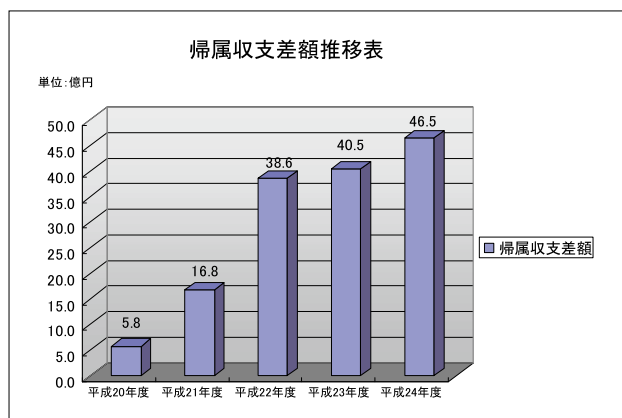
24年度事業内容	結果・備考等	24年度予算	実績	差異
3) 診療報酬改定システム変更	3) 診療報酬改定に伴うシステムの変更	9.5	3.2	6.3
<b>2.施設・設備関係</b>				
1) 本館6階フロア整備 ＜創立40周年記念事業＞	1) 会議室を含めた本館6階フロアの再整備等	200.0	147.0	53.0
2) 電気室改修工事(3/3期)	2) 経年劣化した電気室の整備	110.0	103.4	6.6
3) ナースコール更新工事	3) 経年劣化による4病棟のナースコール更新	45.0	0.0	45.0
4) 医療整備機器整備	4) 大型医療設備、経年劣化による代替機器、最新医療機器の整備	100.0	85.7	14.3
5) 画像システム(RIS・PACS)更新	5) 画像システム(RIS・PACS)の更新	85.1	0.0	85.1
6) 輸液ポンプ・シリンジポンプ更新	6) リース期間満了による輸液ポンプ・シリンジポンプの更新	30.0	29.4	0.6
7) 栄養課厨房整備	7) 経年劣化による厨房機器の整備	5.0	0.0	5.0
<b>《看護専門学校》</b>				
<b>1.教学関係</b>				
1) 体験学習	1) 看護に必要な技術を習得するため、技術演習や小グループによる体験学習を実施	2.7	2.3	0.4
2) 専任教員の研修・研究	2) 看護教育内容、方法の改善や教員の質の向上を図るため、学外の研修会や研究会への参加	1.1	0.7	0.4
3) 基礎看護学実習	3) 看護に必要な基礎知識、技術、態度を看護実践の場を通して段階的に習得を図るための実習を実施	1.1	1.0	0.1
<b>2.施設・設備関係</b>				
1) チャイム工事	1) 経年劣化による現有機器の更新	1.1	1.1	0.0
2) シミュレーションモデル整備	2) 教育研究・実習用機器備品の整備充実	1.6	1.4	0.2

## 消費収支計算書の概要

帰属収入合計は、前年比24億9,500万円(3.4%)増の757億1,400万円となりました。基本金組入額は、前年比49億2,600万円(202.8%)増の73億5,500万円となり、帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は、前年比24億3,100万円(3.4%)減の683億5,900万円となりました。

一方、消費支出は、前年比18億9,500万円(2.7%)増の710億6,200万円となりました。その結果、消費収入から消費支出を差し引いた差額(消費収支差額)は、27億300万円の支出超過となり、前年比では43億2,600万円減少となりました。

また、帰属収支差額(帰属収入－消費支出)では、46億5,200万円の収入超過となり、前年比6億円(14.8%)増加となりました。



## 1.消費収入

○学生生徒等納付金(構成比6.7%)

前年比1億1,500万円(2.3%)増の50億7,300万円の収納となりました。

○寄付金(構成比1.9%)

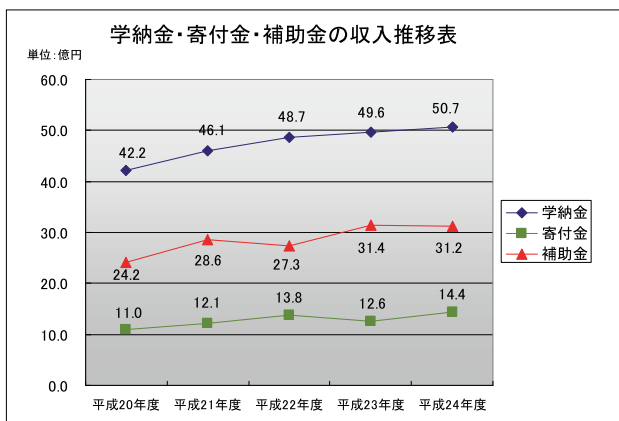
前年比1億8,300万円(14.5%)増の14億4,100万円となりました。この主な要因は、創立40周年記念事業寄付金が1億4,900万円(法人5,100万円、個人9,800万円)増加したことによるものです。

○補助金(構成比4.1%)

前年比2,400万円(0.8%)減の31億2,000万円となりました。この主な原因は、国庫補助金うち経常費補助金(一般・特別)が、前年比1億100万円(4.8%)減の20億1,200万円の交付となったことによるものです。

○事業収入(構成比0.6%)

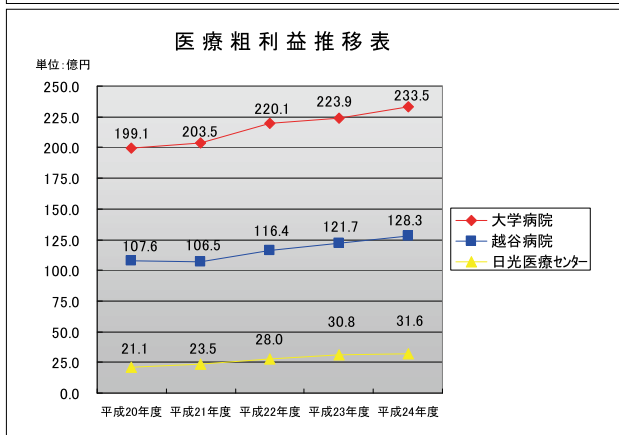
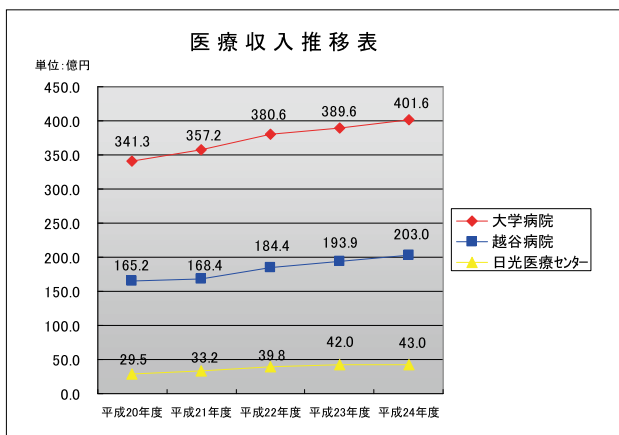
関記念学生館(雲雀館含む)の寮収入である補助活動収入は前年比400万円(3.7%)増となったものの、製薬会社等の外部機関からの治験経費等の受託事業収入が前年比4,100万円(10.9%)減となったことにより、前年比3,600万円(7.4%)減の4億4,900万円となりました。



### ○医療収入 (構成比85.5%)

入院収入が前年比17億3,000万円(4.3%)増の419億7,300万円、外来収入が前年比4億1,700万円(2.1%)増の204億1,100万円、室料差額収入が前年比1,900万円(1.0%)増の19億2,500万円となり、総額で前年比22億400万円(3.5%)増の647億4,800万円となりました。

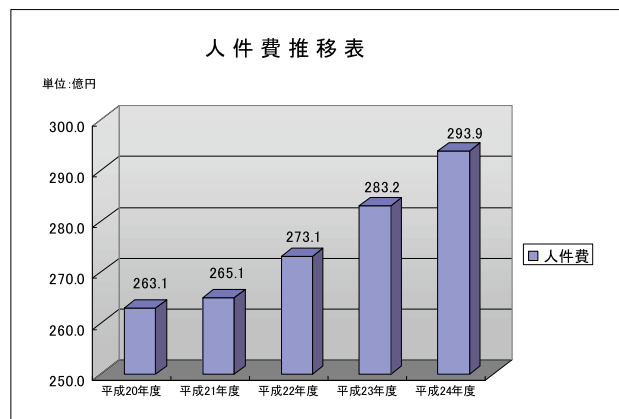
今年度大きく収支を改善した主な要因は、3病院の経営努力により医療粗利益が16億9,300万円改善したことによります。



## 2.消費支出

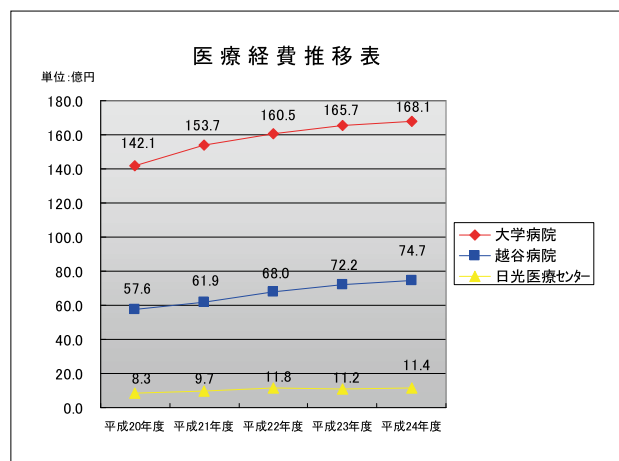
### ○人件費 (構成比41.4%)

人件費は年々増加傾向にあり、前年比10億6,900万円(3.8%)増の293億9,200万円となりました。そのうち、教員分が前年比2億2,100万円(2.8%)増、職員分が前年比8億6,800万円(4.6%)増、退職給与引当金繰入額が前年比2,000万円(1.3%)減となっています。



### ○教育研究経費 (構成比54.7%)

前年比8億6,400万円(2.3%)増の388億3,500万円となりました。このうち医療経費が、前年比5億1,100万円(2.1%)増の254億1,500万円となりましたが、前年比で医療経費率は減少していることから、単に経費が増加したものではなく、医療収入の増加に伴うものです。

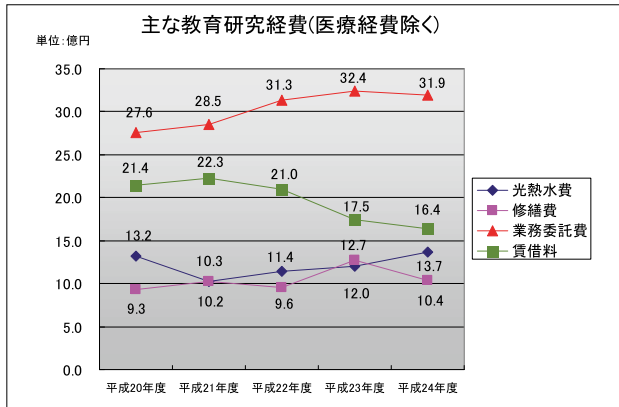


また、主な一般経費のうち光熱水費が前年度比1億7,000万円(14.2%)増の13億6,900万円となりました。この主な要因は、震災後の全国的な電力不足を受け、電気料が値上げになったことによるものです。

一方、業務委託費、賃借料、修繕費は減少となりました。特に、賃借料は平成21年度をピーク

に減少傾向にあります。

よって、教育研究経費(医療経費を除く)は、前年比3億5,300万円(2.7%)増の134億2,000万円となりました。



○管理経費(構成比3.4%)

業務委託費、消耗品費、賃借料等が増加したことにより、前年比1億1,300万円(4.8%)増の24億4,300万円となりました。

○借入金等利息(構成比0.02%)

既長期借入金の約定償還は順調に進んでいるものの、創立40周年記念事業に伴う長期借入金20億円を新規調達したことにより、借入金利息負担額は前年比100万円(6.3%)増の1,700万円となりました。

### 平成24年度消費収支計算書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位：百万円)

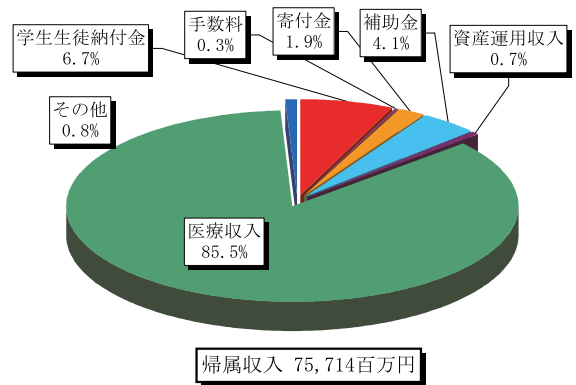
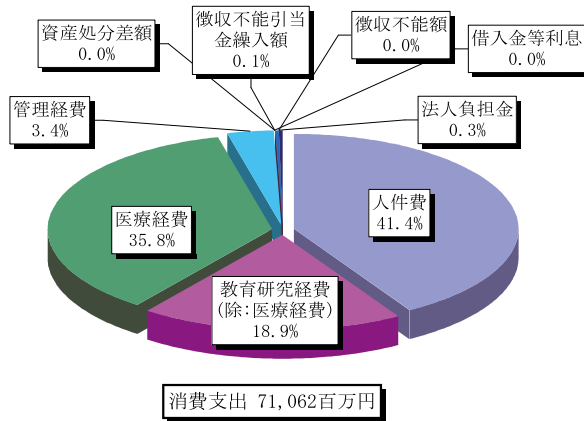
支 出 の 部					収 入 の 部				
科 目	平成24年度 決算額	平成23年度 決算額	増 減		科 目	平成24年度 決算額	平成23年度 決算額	増 減	
人 件 費	29,392	28,323	1,069		学生生徒等納付金	5,073	4,958	115	
教育研究経費	38,835	37,971	864		手数料	208	202	6	
(医療経費)	(25,415)	(24,904)	(511)		寄付金	1,441	1,258	183	
(一般経費)	(13,420)	(13,067)	(353)		補助金	3,120	3,144	△24	
管理経費	2,443	2,330	113		(国庫補助金)	(2,488)	(2,530)	(△42)	
借入金等利息	17	16	1		(地方公共団体補助金)	(630)	(614)	(16)	
資産処分差額	32	87	△55		(その他の補助金)	(2)	(0)	(2)	
徴収不能引当繰入額	101	212	△111		資産運用収入	502	458	44	
徴収不能額	2	2	0		資産売却差額	0	0	0	
法人負担金	240	226	14		事業収入	449	485	△36	
					医療収入	64,748	62,544	2,204	
					雑収入	135	141	△6	
					法人負担金収入	38	29	9	
					帰属収入合計(A)	75,714	73,219	2,495	
					基本金組入額(△)	△7,355	△2,429	△4,926	
消費支出の部合計(B)	71,062	69,167	1,895		消費収入の部合計	68,359	70,790	△2,431	
当年度消費支出超過額	△2,703	1,623	△4,326						
帰属収支差額(A-B)	4,652	4,052	600						

(端数未調整)

[解説] 消費収支計算は、当該会計年度の消費収入と消費支出の内容とその均衡の状態を明らかにするためにいきます。帰属収入(負債とならない収入)から基本金組入額(施設設備などの取得に充てる額)を控除して、消費支出に充てることができる消費収入(帰属収入-基本金組入額)を算出し、この消費収入と消費支出を対比して均衡の状態をみます。企業会計の損益計算書に似た性格のものです。具体的には、人件費、消耗品費、光熱水費、修繕費などの経常費用をどのような収入で賄っているかみるためのものです。



## 平成24年度 消費収支の科目別構成比



## 資金収支計算書の概要

消費収支計算書と重複するものを除いて、主な項目について説明します。

### 1. 資金収入

#### ○借入金等収入

創立40周年記念事業(教育医療棟建設資金)に伴う長期借入金20億円の調達を行いました。

#### ○前受金収入

ほぼ前年度並みの14億4,600万円となりました。

#### ○その他の収入

減価償却引当特定資産からの繰入収入の増加等により、前年比32億4,600万円(20.2%)増の193億3,200万円となりました。

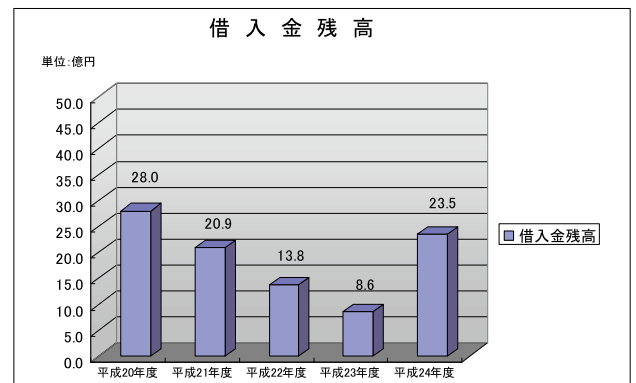
#### ○前年度繰越支払資金

前年比17億8,000万円(20.0%)増の106億8,900万円となりました。

### 2. 資金支出

#### ○借入金等返済支出

長期借入金の約定償還は、前年同額の5億1,200万円となりました。なお、平成24年度末の借入金残高は、創立40周年記念事業(教育医療棟建設資金)に伴う長期借入金20億円を調達したことにより、前年比14億8,800万円(36.7%)増の23億5,200万円となっています。



#### ○施設関係支出

前年比34億3,300万円(185.3%)増の52億8,600万円となりました。この主な要因は、越谷病院の腎・予防医学センターフロア取得等による建物支出、教職員・学生寮新築工事等による建設仮勘定支出の増加によるものです。

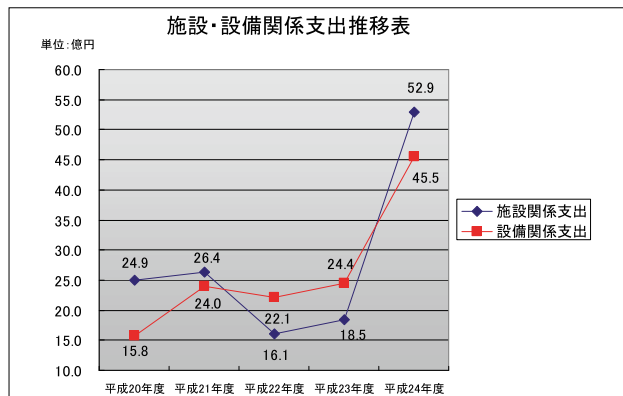
#### ○設備関係支出

前年比21億500万円(86.1%)増の45億4,900万円となりました。この主な要因は、教育研究用機器備品支出が前年比20億7,900万円(87.6%)増の44億5,200万円となりました。これは、大学病院における次期統合医療情報システムや越谷病院における放射線画像管理システムや医事会計システムを含むオーダリングシステム等の大型のリース資産が増加したことによります。

#### ○資産運用支出

退職給与引当特定資産30億円、減価償却引当特定資産60億円、第3号基本金引当特定資産10億円等、前年比30億1,100万円(43.0%)増の100

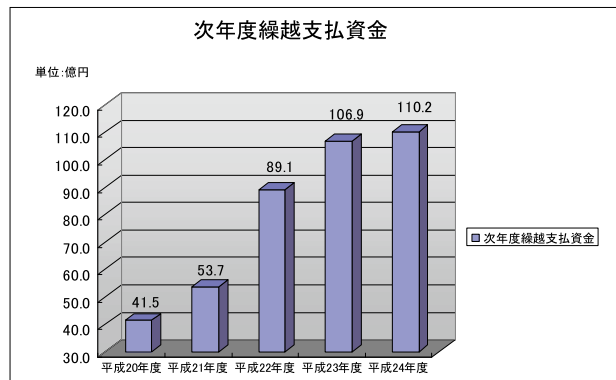
億1,100万円となりました。この主な要因は、特定資産の積増し30億円(予算計画通り)及び関連会社である株式会社獨協メディカルサービスの増資1,100万円によるものです。



前年比19億3,400万円(21.4%)増の109億6,600万円となりました。

○次年度繰越支払資金

前年比3億3,100万円(3.1%)増の110億2,000万円となり、十分な手元流動資金が確保できました。



○資金支出調整勘定

リース資産増による期末未払金等の増加により

平成24年度 資金収支計算書  
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位：百万円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	平成24年度 決 算 額	平成23年度 決 算 額	増 減	科 目	平成24年度 決 算 額	平成23年度 決 算 額	増 減
人件費支出	28,925	27,657	1,268	学生生徒等納付金収入	5,073	4,958	115
教育研究経費支出	34,653	33,997	656	手数料収入	208	202	6
管理経費支出	2,105	2,005	100	寄付金収入	1,344	1,214	130
借入金等利息支出	17	16	1	補助金収入	3,120	3,144	△24
借入金等返済支出	512	512	0	(国庫補助金)	(2,488)	(2,530)	(△42)
施設関係支出	5,286	1,853	3,433	(地方公共団体補助金)	(630)	(614)	(16)
設備関係支出	4,549	2,444	2,105	(その他の補助金)	(2)	(0)	2
資産運用支出	10,011	7,000	3,011	資産運用収入	502	458	44
その他の支出	9,742	9,216	526	資産売却収入	0	0	0
法人負担金	240	226	14	事業収入	449	485	△36
資金支出調整勘定	△10,966	△9,032	△1,934	医療収入	64,748	62,544	2,204
				雑収入	135	141	△6
				借入金等収入	2,000	0	2,000
				前受金収入	1,446	1,446	0
				その他の収入	19,332	16,086	3,246
				法人負担金収入	38	29	9
				資金収入調整勘定	△12,990	△13,033	43
次年度繰越支払資金	11,020	10,689	331	前年度繰越支払資金	10,689	8,909	1,780
支出の部合計	96,094	86,583	9,511	収入の部合計	96,094	86,583	9,511

(端数未調整)

[解説] 資金収支計算は、当該会計年度の教育研究診療活動に対応するすべての収入・支出の内容並びに支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするために行うものです。具体的には、組織の活動に伴ってどれだけお金が入ってきて、どれだけ出ていったか、その結果、お金がどれだけ残ったかを明らかにするものです。このため消費収支計算書に計上されていない「借入金等収入」「前受金収入」「借入金等返済支出」「施設関係支出」「設備関係支出」及び「資産運用支出」等が資金の収入・支出を伴うため計上されます。一方、消費収支計算書に計上されている「基本金組入額」「減価償却費」等は資金を伴わないため資金収支には含まれていません。

## ■資産、負債の状況

### ○資産の部

固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産等)は、前年比83億3,100万円(15.1%)増の634億6,800万円となりました。この主な要因は、その他の固定資産のうち退職給与引当特定資産が2億円、減価償却引当特定資産が28億円増加したことによります。

また、流動資産(現金預金・未収入金等)は、前年比2億7,200万円(1.1%)増の243億1,600万円となりました。この主な要因は、前述の通り、手元流動資産の現金預金が3億3,100万円増加したことによります。

資産の部合計では、前年比86億300万円(10.9%)増の877億8,400万円となりました。

### ○負債・基本金・消費収支差額の部

固定負債(長期借入金・退職給与引当金等)は、主に、約定償還により長期借入金が5億1,200万円減少した一方で、創立40周年記念事業(教育医療棟建設資金)に伴う長期借入金やリース資産計上に伴う長期未払金が増加し、前年比28億8,300万円(17.4%)増の194億4,900万円となりました。

また、流動負債(短期借入金・未払金・前受金等)は、未払金等が増加したことにより、前年比10億7,000万円の114億500万円となりました。

この結果、資産の部合計から負債の部合計(固定負債+流動負債)を差し引いた正味財産は、569億3,000万円で前年比46億5,200万円(8.9%)増加しました。

## 資産、負債の状況 (平成25年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部				負債・基本金・消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	63,468	55,137	8,331	固 定 負 債	19,449	16,566	2,883
有 形 固 定 資 産	52,900	47,574	5,326	流 動 負 債	11,405	10,335	1,070
そ の 他 の 固 定 資 産	10,568	7,563	3,005	基 本 金	125,050	117,695	7,355
流 動 資 産	24,316	24,044	272	翌年度繰越消費収支差額	△68,120	△65,415	△2,705
合 計	87,784	79,181	8,603	合 計	87,784	79,181	8,603

(端数未調整)

[解説] この表は年度末における財務状態を表わしたもので、B/S(バランスシート)とも言われます。資産とは、教育研究診療に使用または運用される大学の財産であり、負債とはその財産の調達資金のうち、将来返さなければならぬお金(他人資金)です。基本金と消費収支差額は、調達資金のうち外部へ返さなくてもよいもので、大学に完全に帰属する資金総額であり、正味財産(自己資金)と呼ばれています。

## ■最後に

平成24年度決算は、診療報酬改定の年であったため、収支にどのような影響がでるか試算できない部分がありましたが、教職員の皆様のコスト削減に対する高い意識と日頃の努力の積み重ねが成果に繋がり、前年度の帰属収支差額を上回る好決算となりました。

しかし、将来的な大学や各病院の建替え等を視野に入れた場合、本学の財政基盤はまだ安定しているものとは言えません。

そして、今年度は、創立40周年事業に伴う教育医療棟建設等を始めとした大型事業も控えています。また、来年度も、消費税の増税に対する対応等、

取り組むべき課題が山積しています。

この様な状況を十分ご理解いただき、創立40周年という節目となる年が良き年となるよう、また、50周年、100周年に繋げていけるよう、引き続き教職員の皆様のご協力をお願いいたします。

なお、ご不明な点、ご質問等がありましたら、事務局経理部経理課にご照会願います。また、本学のホームページにおいても、決算情報を掲載しますので、併せてご覧ください。

獨協学園の事業報告書、事業計画書及び財務情報の詳細については、獨協学園のホームページ <http://www.dac.ac.jp/> をご覧ください。